

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立山代東小学校
1 前年度 評価結果の概要	・ 小中連携による学力向上推進地域指定事業の研究の効果がでてきている。来年度も継続して取り組む。 ・ 児童に関する連絡会が定期的に実施できず、共通理解を図ることができなかった。日常の会話の中で情報交換をし、できる者ができる範囲で支援に当たってきた。支援会議を行い、計画的な支援ができるようにする。 ・ 職員に業務が偏らないように工夫する。また,若手職員に対しては,指導だけでなく,寄り添いながら一緒に取り組むように支援をしていく。
2 学校教育目標	笑顔で 元気な 東っ子

3 本年度の重点目標	① 「学び」の楽しさや喜びを味わわせ、学力の向上を目指す。 ② 感性を高め、思いやりに満ちた豊かな人間性を育成する。 ③ 基本的生活習慣を身に付けた、心身共に健康で、たくましい児童を育成する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・言語活動等の表現活動を学習に位置づけ、表現力の向上につなげる。 ・3年以上に算数TTの時間を確保し、基礎基本の向上に努める。	・		・			・学力向上対策コーディネーター ・研究主任		
	○基礎基本の確実な定着 ○ICT利活用教育の推進	○授業と家庭学習との繋がりをも身につかせ、スキルタイムとの連携により、学力の定着を目指す。 ○授業中は、積極的にICTを活用する。	・家庭学習は「学年×10＋10」分を目標にする。 ・電子黒板を積極的に活用できるように配置する。	・		・			・学力向上対策コーディネーター ・研究主任		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○年に2回、道徳に関するアンケートを実施し、肯定的な意見を持つ児童の割合を80%以上にする。 ○縦割り活動について、楽しかった振り返りや相手意識をもった行動ができたという感想を持たせた等の児童の割合を80%以上にする。	・道徳教育全体計画の重点目標を念頭に置き、児童の発達段階に応じた授業づくりを行う。 ・いろいろな縦割り活動を計画し、異学年交流を通して思いやりの心を育てる。	・		・			道徳教育教育担当 人権・同和教育担当者 各学年担任		
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校が楽しいと肯定的な回答をした児童が90%以上。	・くらしのアンケートを実施し、児童の実態を把握。 ・温かく思いやりのある学級風土づくり。 ・職員間の情報交換を行い、連絡を密にする。	・		・			生徒指導担当 教育相談担当 各学年担任		
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)85%以上	・児童の資質・能力を育てるための授業実践 ・目的や見通しを持った体験活動を行い、学びの足跡を残すための振り返りを行う。	・		・			教務主任 各学年担任		
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●歯と口の健康に関する指導を通して、児童自身の心身の健康に関する実践力を高める。 ●1日3回の歯磨きを実施している児童の100%を目指す。	・発達段階に応じた歯と口の健康に関する指導を計画的に行う。 ・食育だより等を通し、保護者に食育に関する啓発を、歯と口の健康に関連付けながら行う。	・		・			保体部長 体育主任 保健主事 養護教諭		
	○外遊びの奨励	○中休み、昼休みの外遊びを奨励し、外で遊ぶ児童80%以上を目指す。	・外での集団遊びを紹介し、実践へとつなげる。	・		・			給食担当		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・ベテランやミドルリーダーを活用し、若手職員に対しては、指導だけでなく、寄り添いながら一緒に取り組むようにする。 ・退案に退勤時刻が記入できるようにすることで業務や時間を意識させる。	・		・			管理職		
	○校務処理の効率化 ○規範意識・モラルの高揚	○校務分掌が誰になっても対応できるような文書管理をする。 ○明るい職員室づくりを目指し、美化や環境を整える。	・提出文書の一元管理と紙媒体での保存をする。 ・明るい挨拶と笑顔、感謝の言葉が飛び交う職員室になるように働きかける。	・		・			管理職		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○個に応じた指導体制の充実 ○特別支援教育の推進	○児童に関する情報交換会を月2回以上実施する。 ○特別支援教育について理解を深めるため、職員の研修会を年2回以上実施する。	・保護者面談や情報交換会、校内支援委員会を通して保護者や職員間の連携を図り、共通理解をして支援を行う。	・		・			特別支援教育コーディネーター		
○地域連携教育の推進	○授業参観・学校行事等において保護者・地域と連携を図る。	○授業参観、学校行事等において保護者・地域と連携を図る。	・PTA行事、地区の行事には毎回、積極的に参加する。 ・学校便り等で人材を募り、地域の方に学校支援への協力をお願いする。	・		・			管理職		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------